

鳥獣保護管理強化総合対策事業費
(希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)による農林水産業等への被害対策事業を含む)
709百万円(516百万円)

自然環境局国立公園課、野生生物課鳥獣保護業務室

1. 事業の概要

近年、我が国において、鳥インフルエンザ等の感染症が野鳥で発生し、また、生息地を拡大した鳥獣による生態系被害や農林水産業被害、更には人身被害が大量に発生しており、深刻な問題となっている。

鳥インフルエンザ等の感染症については、ひとたび家畜等への感染が起これば地域の社会・経済に著しい支障を来すのみならず、希少種の絶滅など我が国の生物多様性保全上大きな影響を及ぼすおそれがある。

一方、シカ、イノシシ等の鳥獣が急激に生息数を増やし、生息地を拡大している。その食害による希少植物の減少や森林の劣化などの生態系被害の拡大や農林水産業の被害額の増加に加え、最近では住宅地や観光地への出没による人身被害や電車や車との衝突など生活環境の被害も増加しており、各地で深刻な問題となっている。

生物多様性保全上重要な地域である国立公園等でもシカによる生態系影響は深刻であり、総合的な対策を講じることが喫緊の課題となっている。

このため、鳥インフルエンザ等の感染症発生時に迅速かつ適切な危機管理対応を行うとともに、シカやイノシシ等の鳥獣被害対策として、鳥獣保護管理の新たな担い手の確保、地域ぐるみでの捕獲、新たな捕獲手法や体制の整備などの科学的知見に基づく総合的かつ順応的な取組を強化する。

また、近年、希少鳥獣であるゼニガタアザラシによる漁業被害が深刻化しており、このため、ゼニガタアザラシの絶滅を回避しつつ、地域社会と共存するための漁業被害対策事業を実施する。

2. 事業計画

(1) 鳥獣感染症発生時対策事業

① 発生時における死亡鳥獣等のウイルス保有状況検査

全国的な野生鳥獣の感染状況を把握するため、発生時における急激な検体増加に着実に対応して渡り鳥等の鳥獣から採取した検体の分析等を実施する。

② 発生地周辺調査

発生地周辺において野生鳥獣の生息状況調査や糞便調査等のウイルス保有状況調査等を迅速かつ緊急的に行う。

③ 発生地周辺への渡り鳥の飛来経路調査

発生地周辺に飛来する渡り鳥の飛来経路を衛星追跡により解明する。

④ 対策強化に向けた情報収集・分析・検討

専門家ヒアリングや検討会の開催等を実施し、危機管理対応に反映する。



(2) 鳥獣保護管理強化事業費

①鳥獣保護管理に係る人材育成

新たな担い手確保のための狩猟免許取得に向けたセミナーや、地域ぐるみでの捕獲数を増やすノウハウの講習会、狩猟者の捕獲技術を向上させる研修会等を全国で開催。また、捕獲の専門家や動物の生態の有識者によるサポート体制の整備を図る。

②地域ぐるみでの捕獲推進モデル地域づくり

全国12地域のモデル地域における地域ぐるみでの捕獲を推進する先進地づくり、捕獲推進に伴って発生する錯誤捕獲対策、シカ等を大量に捕獲できる高度な射撃技術等の開発・実証を行う。

③鳥獣保護管理実態調査・検討

深刻な被害が生じているシカ、イノシシ、サル、カワウ等の鳥獣について、最新の知見等を収集・整理し効果的な手法の周知や研修会の開催により都道府県の対策を強化するとともに、必要な実態調査等を行う。また、広域に生息する鳥獣への対策を講じるための体制づくりを推進する。

また、ゼニガタアザラシについては、環境省ゼニガタアザラシ保護管理計画に基づいて、地域の関係者や専門家と連携しつつ、漁業被害軽減のための被害防除手法の開発・実証、個体数調査や生態調査の実施、調査結果に基づく個体群動態予測等を実施する。

(3) 国立公園等シカ管理対策事業費

①シカ管理計画策定事業

国立公園等において、シカの本格的な駆除に向けた調査、体制構築、生態系維持回復事業計画等のシカ管理計画の策定、試験的なシカの駆除等を行うことで効率的なシカ対策を講じるための基盤構築を図る。

②先進的なシカ管理対策モデル事業

①により基盤構築がなされた国立公園等において、大型仕切り柵を併用した巻狩りや自動落下式ゲートを備えた囲いワナによる捕獲など先進的な捕獲手法を駆使した本格的なシカの駆除を行い、生態系被害の軽減を図る。

3. 施策の効果

鳥インフルエンザ等の感染症に係る危機管理対応の飛躍的な充実が図られるとともに、シカやイノシシ等の保護管理に係る担い手の確保や先進地づくりや国立公園等におけるシカ捕獲の実施等総合的な対策を講じることで、生態系被害や農業被害を抑える。

また、希少鳥獣であるゼニガタアザラシの保全をしながら、生息地周辺における漁業被害の軽減が図られる。

鳥獣保護管理強化総合対策事業費

平成26年度予算(案)額
709百万円 (516百万円)
支出先: 民間団体等

背景

増えすぎたシカ等による生態系や
農林水産業の被害の深刻化

希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)の集中に
よる漁業被害の深刻化

国立公園等の生物多様性保全上重要な
地域における生態系影響が深刻化

クマの市街地への出没やイノシシと車の
衝突など生活環境被害の増加

人の生活圏や農地等における
取組との連携不足

鳥インフルエンザ等の感染症の発生時の
対応強化

狩猟者の減少や担い手の不足

模範となる事例や技術の不足

鳥獣保護管理強化事業費

人材育成

- ・狩猟免許の取得に向けたセミナーを全国で開催し、新たな担い手の確保を強力に推進
- ・地域ぐるみで捕獲数を増やすノウハウの講習会を全国で開催し、集落単位の自衛力を強化
- ・捕獲の専門家や動物の生態の有識者等によるサポート体制の整備等

モデル事業

- ・地域ぐるみで捕獲を推進するため、全国12地域に設定したモデル地域において、先進地づくりを強力に推進
- ・地域ぐるみで捕獲を推進することに伴って発生する錯誤捕獲への対策として、クマの安全な放獣技術の開発やマニュアルの作成
- ・シカ等を大量に捕獲できる高度な射撃技術の開発・実証

実態調査・検討

- ・深刻な被害が生じている特定鳥獣(シカ、イノシシ、サル、カワウ等)について、最新の知見等を収集・整理し、効果的な対策手法の周知や研修会の開催等により、都道府県の対策を強化
- ・広域に活動する鳥獣への対策を講じるための体制づくり
- ・シカ、イノシシ等について、全国における個体数及び変動状況の把握・推計等
- ・希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)による漁業被害軽減のための被害防除手法の開発・実証、個体群動態予測等

鳥獣感染症発生時対策事業

野生鳥獣に感染症が発生した際の対策を適切に実施

- ・死亡鳥獣のウイルス保有状況検査
- ・発生地周辺の感染状況等調査
- ・感染経路解明のための調査
- ・発生時の緊急的な対策検討等

国立公園等シカ管理対策事業費

- ・国立公園等において、シカの本格的な駆除に向けた調査、体制構築、管理計画の策定等による効率的なシカ対策を講じるための基盤構築
- ・効率的なシカ対策を講じるための基盤構築が行われた地域において先進的な捕獲手法を駆使した本格的なシカ駆除の実施

科学的知見に基づく総合的かつ順応的な取組の抜本的強化